STIHL BG 45

組立て
取り扱い
安全注意
保守整備

初めてご使用になる前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
安全に関する注意事項を遵守して下さい！

目次

はじめに 2
使用上の注意 3
ブロワー マシンの準備 7
燃料 8
燃料の給油 10
始動 / 停止 10
作業中の注意事項 13
ブロワー マシンの応用例 13
エアー フィルターの掃除 14
キャブレターの調整
(アイドリング スピード調整
スクリュー LD 装備の場合) 14
(アイドリング スピード調整
スクリュー LA 装備の場合) 15
排気ガス触媒 * 16
スパーク プラグの点検 17
エンジンの運転状態 18
リワインド スターター 18
保管 18
整備表 19
磨耗の低減と損傷の回避 20
主要構成部品 21
技術仕様 22
特殊アクセサリー 23
修理に関する注意事項 23
CE 適合証明書 24
品質保証書 24

* 「はじめに」の項を参照

STIHL®

印刷インキは植物性油を含む。
この紙はリサイクル可能です。
無塩素漂白紙使用

© 2003 Andreas Stihl AG & Co., Waiblingen
0458 294 4321. M0,1. A3. T. Printed in Germany

お客様各位

この度はスチール社の製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。

この製品は、最新の製造技術と入念な品質保証処置を施して製造されました。私共は、お客様がこの製品を支障なく使用され、その性能に満足していただくために最善の努力を尽くす所存でおります。

製品に関して御質問がおありの際は、お買上げの販売店あるいは直接当社販売支店にお問い合わせください。

敬具

Hans Peter Stihl

Hans Peter Stihl

CE

はじめに

シンボル マークについて

マシンに表示されているシンボル マークは、本取扱説明書で説明されています。

操作の説明にはイラストも参照してください。

段落の前に付いたシンボルや数字

操作の説明記述にはシンボルや数字が先行することがあります。

- イラストでは示されていないが、必要である作業

説明文の上又は横に示されているイラストに対応する作業は、該当数字で照合できます。
例 :

1 = スクリューを外します。

2 = レバーを ...

本取扱説明書では、操作に関する説明の他にも、重要な記述の前に以下のシンボルが示されています :

⚠ 人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

パワー ツール本体或いは構成部位の損傷に関する警告。

マシンの操作に不可欠ではないが、より理解し易く、且つ使いやすくするための注意事項。

環境に優しい使い方への注意。

* 製品内容 / 装備

本取扱説明書は、製品内容が異なる種々の型式に対応しています。機種によって装備されていない構成部品とその応用には * 印が付記されています。お求めになられた機種に含まれていなくても、 * 印が付記された部品は、スチール販売店で特殊アクセサリーとしてお求め頂けます。

技術改良

当社は常に製品の改良と開発に努力しております。そのため、形状、技術、装備に関する変更をことわりなく行うことがあります。

この取扱説明書のデーターおよび図などから製品保証などの権利を主張することはできません。

使用上の注意

本機を使った作業には特別な安全措置が必要です。

初めて使用する前に取扱説明書全部を注意深くお読みになり、必要な時に見られるように確実に保管してください。

安全注意事項を守らないと生命の危険があります。

本機で初めて仕事をする人は：
スチール販売店で安全な取り扱い方を教えてもらってください。

ブロワー マシンを使用する場所に子供、動物、見物人を近づけないでください。

他者及びその所有物に対して生じた事故又は危険に関し、その一切の責任をユーザーが負います。

本機をゆずったり、貸したりする場合は、取扱方法をよく知っている人に限ってください。その際、必ず取扱説明書を一緒に手渡してください。

本機で作業する人は、
健康で体調が優れていることが前提です。

アルコールや反射神経を鈍らせる薬品、あるいは薬物を服用した状態では、本機を使う作業は避けてください。

アタッチメント

当社供給のアタッチメント、或いは当社がアタッチメントとして明確に承認したものだけを使用してください。
その他のアタッチメントは、事故の危険性を高めるため、使用が禁止されています。

承認されていないアタッチメントを使用した際の人的および物的損害に対しては、当社は一切保証を行いません。

衣服と装備

規定にそった服装と装備を身に付けること。

服装は作業しやすく、作業の妨げにならないことが最も重要です。上下作業服が適切です。

エアー吸引部に入り込むような服装、襟巻き、ネクタイ、装身具などは身に付けないでください。長髪は結んでまとめてください (例えばスカーフ、帽子、ヘルメット等の着用)!

滑らない靴底で爪先に鋼板の入った**安全靴**を履いてください。

顔面プロテクターあるいは**安全ゴーグル**を着用してください。物体が舞い上がったり、飛び散ったりする危険があります。

「自分専用の」**イヤー プロテクター**を着用してください。例えば、防音用耳栓など。

しっかりとした手袋を着用してください。
厚手ですべり止めのついたものが最適です。

給油

ガソリンは非常に簡単に着火します。
火気を近づけないでください。燃料はこぼさないでください。

燃料を給油する前に**エンジンを停止してください。**

エンジンがまだ熱いうちは給油しないでください。燃料が流れ出ることがあります。**火災の危険！**

燃料キャップは、燃料が吹き出さずに圧力がゆっくりと抜けるようにゆっくり開けてください。

給油は風通しの良い場所で行ってください。燃料がこぼれて本機に付いた場合は、その部分を直ちに拭き取ってください。燃料が衣服に付かないよう注意してください。万が一付いた場合は直ちに着替えてください。

給油の後は、燃料キャップをできる限りしっかりと閉めてください。エンジンの振動によって燃料キャップが緩んで燃料が漏れる危険を低減します。

スクリュー プラグを取り付けた機種：
しっかりと締めてください。
フラップ キャップを装備した機種：
「燃料の給油」に操作が説明されています。

燃料が漏れていないかどうか注意してください。漏れている場合はエンジンを始動しないでください。**火傷による命の危険があります！**

燃料とチェン オイルは、規則に沿い、明記した容器に入れて保管してください。

本機を運搬する時は

必ずエンジンを停止してください！

乗り物で運搬する時：
ブロワー マシンが倒れたり、破損したり、燃料が流れ出ないように固定してください。機械を使わない時は誰も怪我をしないよう保管してください。

始動前

本機が安全に作動するかチェックします。
本取扱説明書の該当項目を遵守してください：

- スロットル トリガーはスムーズに作動し、自動的にアイドリング位置に戻らなければいけません。
- ストップ スイッチがスムーズに“停止位置” **O** に動くことを確認してください。
- スパーク プラグ ターミナルがしっかりと差し込まれているかチェックします。緩んでいる場合は火花が発生することがあり、可燃性のガスに引火する可能性があります。火災の危険。

取扱装置と安全装置に改造を加えないでください。

本機は安全な状態でのみ使用してください。**怪我をする危険！**

始動

給油した場所から少なくとも 3 m 離れて行います。密閉した部屋では行わないでください。平坦な場所で、安定した足場に配慮してください。

本機をしっかりと固定します。

ブロワー マシンは一人で操作します。作業場所の周囲から 5 m 以内には第三者を入れないでください。
始動の時も同様です。

取扱説明書の記述通りに始動してください！

作業中の注意事項

エンジン運転中は、ブロワー マシンから**有毒な排気ガス**が出ます。このガスは、無臭で目に見えないことがあります。密閉された、あるいは換気状態が悪い部屋の中では絶対に作業をしないでください。
中毒による命の危険があります！

溝、窪地、あるいは狭い場所で作業する時は、十分な換気に配慮してください。

定期的に休息をいれること。

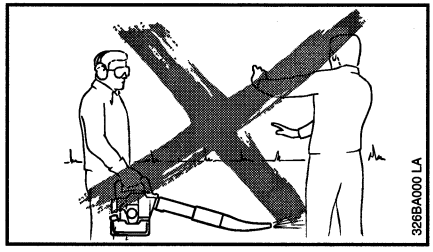
作業中およびブロワー マシン付近での**喫煙は避けてください。**火災の危険性があります！

燃料システムから発火しやすいガソリン蒸気が漏れていることがあります。

一人で作業しないでください。
常に、事故があった場合、声を出せば助けに来れる人に声の届く範囲内で作業してください。

一般的な危険を回避してください。
イヤー プロテクターを付けている場合は、より大きな注意が必要です。危険を告げる音（叫び声、警笛など）が聞こえにくくなるからです。

マシンは常にしっかりと保持してください。安定した足場に配慮してください。



作業場所を点検してください：**決して人に向けてブロワー マシンを吹き付けないでください！**
ブロワー マシンから小さな物体が高速度で飛散する危険性があります。

慎重に作業してください。
明るい視界状況で他人に危険が及ばないよう作業します。

本機の使用は、取扱説明書に書かれている応用分野にのみ限られます。

機械は騒音や排気ガスがあまり出ないように使用してください。
エンジンを不要に作動させないでください。作業時にのみ回転数を上げてください。

滑る危険に注意
濡れた滑りやすい足場、雪、傾斜した足場、平坦でない地面

障害物に注意。ゴミ、木の切り株や根
つまづく危険！

機械を使わない時は誰も怪我をしないよう保管してください。

機械から離れる時は、エンジンを停止してください。

振動

機械を長時間使用した場合には、振動の影響により手の血行不良が生じることもあります (「白ろう病」)。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般的な使用時間の設定は不可能です。

以下の対策をとると 使用時間が延長できます：

- 手の防護 (暖かい手袋)
- 休憩を取りながらの作業

以下の場合は使用時間が短縮します：

- 血行不良の特殊体質（症状：指がよく冷たくなる、しびれ）
- 低い外気温
- 掴む力の強さ (強く握りしめると、血行が低下します)

機械を規則的に長時間使用したり、該当する症状（指のしびれ等）が繰り返し発症する時は、医師による診断をお薦めします。

整備と修理

機械は定期的に手入れをしてください。この取扱説明書に書かれている保守整備や修理だけを行ってください。

その他すべての作業はスチール サービス センターに行わせてください。

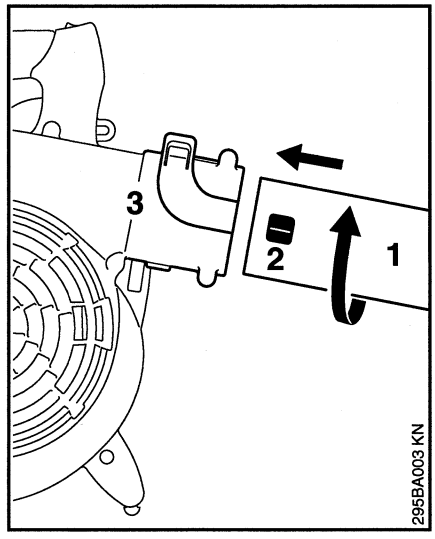
工具の固定部品も含めて、純正スチール スペアパーツだけを使用してください。

本機の保守整備、修理や清掃は、必ず**エンジンを停止させ、スパーク プラグ ターミナルを抜き取った状態で行ってください。**意図せずにエンジンが始動してケガする危険！
例外：キャブレターおよびアイドリング回転数の調整

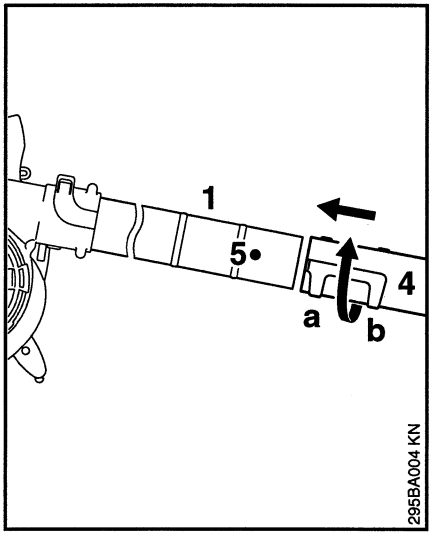
機械に改造を加えないでください。安全が損なわれることがあります。
事故やケガの危険！

本機の整備作業は、火気の近くで行わないでください。保管も同様です！

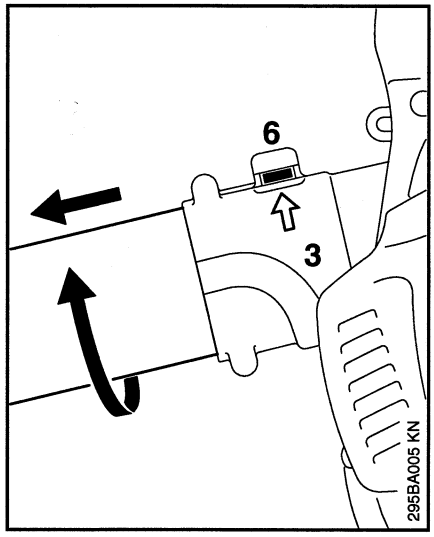
- 燃料キャップに漏れがないか定期的に点検してください。
- 欠陥のない、指定されたスパーク プラグを使用し、問題がないか点検してください (「技術仕様」の項を参照)。
- イグニッション リードを点検してください (正常な絶縁状態や接触)。
- スパーク プラグからイグニッション スパーク ターミナルを取り外した状態、或いはリワインド スターターを装備したスパーク プラグを取り付けない状態でエンジンを作動する場合は、ストップ スイッチを **STOP** 又は ⏹ にしてください。火花が飛んで**火災を起こす危険** があります！
- マフラーに問題がないか定期的に点検してください。
- 不具合なマフラーを取り付けた状態、或いはマフラーを外した状態で作業しないでください。**火災の危険！ 聴覚障害！**
- 加熱したマフラーに触らないでください。**火傷の危険！**



1 = 送風管の
2 = 突出部を
3 = ファン ハウジングの接続ピースに差し込み、矢印方向に回して固定します。



4 = ノズルをポジション a (長) あるいはポジション b (短い) で
5 = 突出部に接続し、
1 = 送風管に差し込んで、矢印方向に回して固定します。



送風管の取り外し

3 = ファン ハウジング接続ピースの
6 = タブを適当な工具で押し上げて、送風管を矢印方向に回して抜き取ります。

燃料

エンジンには、ガソリンとエンジン用オイルの混合燃料が必要です。

燃料の品質と混合比率がエンジンの機能と寿命に決定的な影響を与えます。

不適切な燃料を使用したり、規定と相違する混合比率では、エンジンに重大な損傷をまねくことがあります (ピストンが作動しない、高度な磨耗)。

ガソリン

メーカー品で、最低オクタン価 90 ROZ の製品を使用してください。レギュラーガソリンのオクタン価が 90 ROZ より低い場合は、プレミアム無鉛ガソリンを使用してください。

健康及び環境保護のため、優先的に無鉛ガソリンを使用 してください。

排気ガス触媒を装備したマシンには必ず**無鉛ガソリン**を使用してください。

鉛含有ガソリンを燃料タンク数回分使用した場合、触媒効果は大幅に低下します。

エンジン オイル

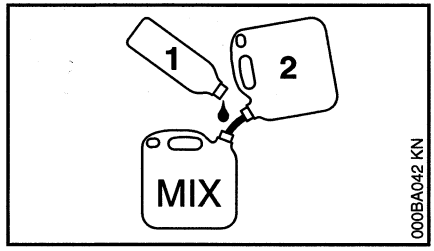
高品質 2 サイクル エンジン オイルだけを使用してください。特に、**スチール 2 サイクル エンジン オイルをお勧めします。スチール エンジンに最も適しており、長いエンジン寿命を保証します。**

その他の良質な 2 サイクル エンジン オイルは TC 品質等級に対応したものでなければなりません。

低品質のガソリンあるいはエンジン オイルは、エンジン、オイル シール 、燃料ホース、および燃料タンクを損傷することがあります。

排気ガス触媒を装備したブロワー マシンでは運転条件が特殊なため、混合燃料には **スチール 2 サイクル エンジン オイル 1 : 50** だけを使用してください。

燃料の混合



ガソリンが直接肌に触れたり、ガソリン蒸気を吸い込まないようにしてください。健康を害する危険があります！

- 適切な燃料容器に先ず

1 = エンジン オイル、その後
2 = ガソリンを入れ充分に混ぜ合わせます。

混合比率

スチール 1:50 2 サイクル エンジン オイルの場合 :
1 : 50 = オイル 1 ＋ガソリン 50

スチール 1:25 2 サイクル エンジン オイル またはその他 TC 等級 2 サイクル エンジン オイルの場合 :
1 : 25 = オイル 1 ＋ガソリン 25

例

ガソリン	スチール 2 サイクル オイル 1 : 50		他社メーカー品 2T-TC オイル 1 : 25	
リットル	リットル	(ml)	リットル	(ml)
1	0.02	(20)	0.04	(40)
5	0.10	(100)	0.20	(200)
10	0.20	(200)	0.40	(400)
15	0.30	(300)	0.60	(600)
20	0.40	(400)	0.80	(800)
25	0.50	(500)	1.00	(1000)

燃料の保管

混合燃料は時間の経過と共に劣化するので、 2 ～ 3 日で使いきる分量だけ混合してください。燃料保管のために許可された携行缶以外は使用しないでください。湿気の少ない安全な場所に保管してください。

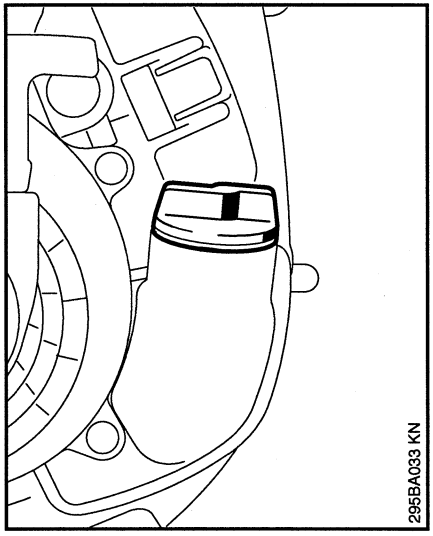
- 給油の前に混合燃料の入った携行缶をよく振ってください。

携行缶内で圧力が生じている可能性があるので、慎重に開けてください！

- 燃料タンクと携行缶は時々十分に洗浄してください。

洗浄に使用した液体は、環境に害を及ぼさないよう規則通りに処理してください！

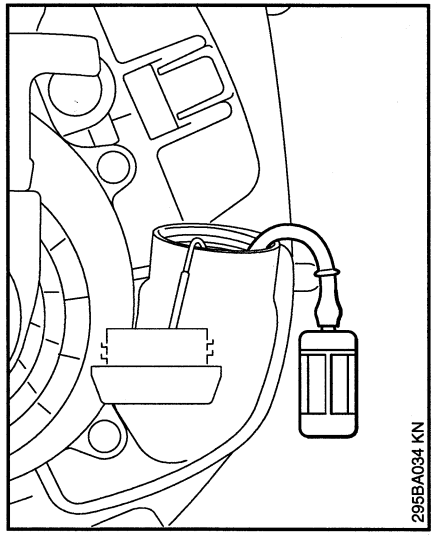
燃料の給油



- 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐため、燃料キャップとその周りをきれいにしてください。
- タンクの注入口が上を向くようにマシンを置いてください。

給油の際には燃料をこぼさないこと、又燃料をタンク一杯に入れないでください。スチール給油システム * を使うと、上記の危険性や、ガソリン蒸気を吸い込むことを容易に回避できます。

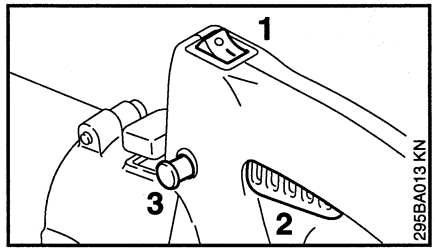
⚠ 給油の後は、燃料キャップを**できる限りしっかりと締めてください。**



燃料ピック アップ ボディを毎年交換してください。

- 燃料タンクを空にします。
- 燃料ピックアップ ボディをフックでタンクから引き出し、ホースから外します。
- 新しいピックアップ ボディをホースに差し込みます。
- ピックアップ ボディをタンクの中に戻します。

始動 / 停止



安全注意事項を守ってください。
「使用上の注意」の項を参照

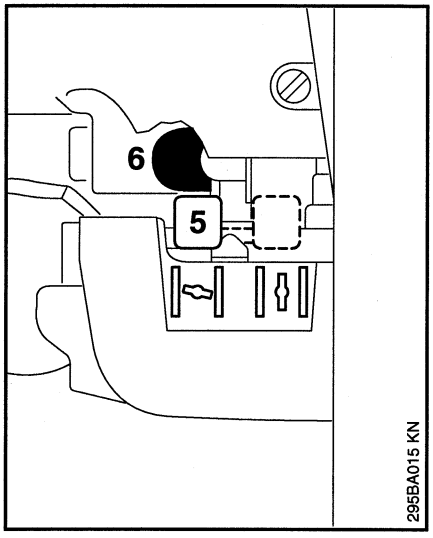
エンジンの始動に際しては

1 = ストップ スイッチを **I** “運転位置” に移動させ、
2 = スロットルトリガーを押し、同時に
3 = ロック ボタンを押します。

- スロットル トリガーを放します。
- ロック ボタンを放します。
  = 始動位置

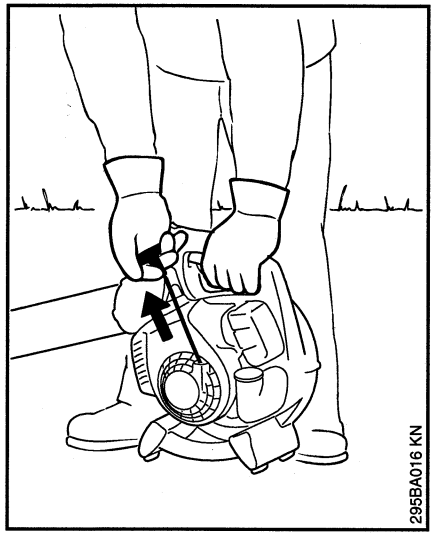
スロットル トリガーを押した状態でロック ボタンを押すと、フルスロットル状態が保持されます。

* 「はじめに」の項を参照

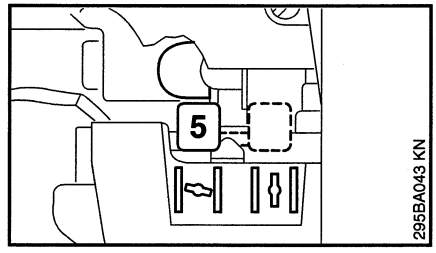


5 = チョーク レバーをセットします。
エンジンが冷えているとき： ⊥ (閉じる)
エンジンが暖まっているとき： ⊥ (開く)

6 = 燃料ポンプのバルブを最低 5 回押します。



- 機械を地面に安全に置いてください。
- 安定した足場を保ちます。
  機械を左手で**しっかり**地面に押しつけ、
  右手で
- スターター ロープをゆっくり引き、かみ合った感じがした時に、素早くしかも勢いよく、グリップを引っ張ります。
  スターター ロープを引っ張りきらないでください。ロープが切れる恐れがあります！
  グリップを急に離さないでください。手を添えてハウジングにゆっくりと巻き込むとスターター ロープは正しく巻き込まれます。



エンジンが冷えているとき：
(チョーク レバーのポジションは ⊥!(閉じる))

- スターター ロープを 5 回引っ張ります。

5 = チョーク レバーを ⊥ (開く) にセットします。

- エンジンがかかるまでスターター ロープを更に引っ張ります。

劣悪な条件下で、チョークレバーを ⥱ (開く) にして、スターターロープを 10 回引っ張ってもエンジンがかからない時は :

チョーク レバーのポジションを ⥱ (閉じる) にして、スターターロープを 5 回引っ張った後、チョーク レバーを ⥱ (開く) にセットし、引き続きスターターロープを引っ張ります。

エンジンが暖まっているとき :

- エンジンがかかるまでスターターロープを引張ります。(チョーク レバーのポジションは ⥱!(開く))

エンジンが始動したら :

- ロック ボタンが外れるまでスロットル トリガーを押します。エンジンはアイドリング スピードになります。

エンジンが暖まっている時或いは **加速時にエンジン が停止する場合** :

- “エンジンが冷えているとき” の説明に従って、始動操作を繰り返します。

これで**マシン**の使用準備が**完了しました。**

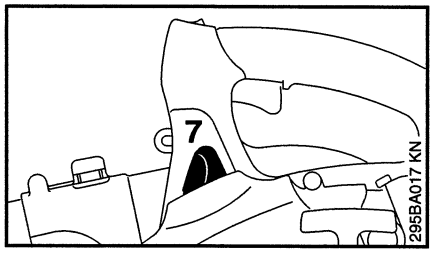
エンジンを停止する

- ストップ スイッチを “停止” 位置 **O** に移動します。

始動時におけるその他の注意事項

– エンジンがかからない場合

- 正しい位置にセットされているか確認します (チョーク レバー、スロットル トリガーは始動ポジション、ストップ スイッチは “運転” 位置 **I)** 。
- 始動操作を繰り返します。



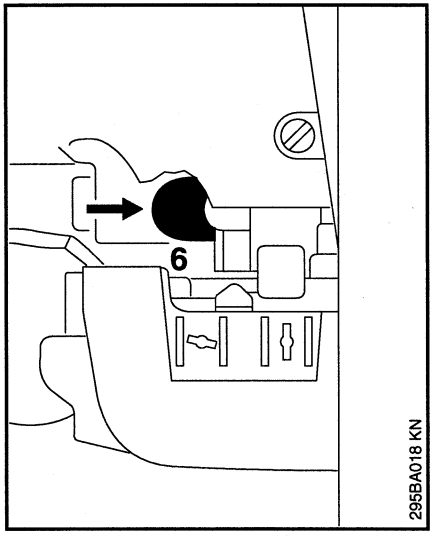
– これでもエンジンがかからない場合

- ストップスイッチを “停止” 位置 **O** に移動します。

7 = スパーク プラグ ターミナルを抜き、

- スパーク プラグをゆるめて外し、乾かします。
- スロットルを全開にします。
- 燃焼室の換気のためスターターロープを数回引張ってください。
- スパーク プラグと
- スパーク プラグ ターミナルを再び装着します。
- ストップスイッチを “運転” 位置 **I** に移動します。
- チョーク レバーを ⥱ (開く) にセットします。
  エンジンが冷えている時も同様です。
- エンジンを再度スタートさせます。

作業中の注意事項



燃料タンクが空になるまで運転してから再給油した場合：

6 = 燃料ポンプのバルブを最低 5 回押してください。バルブに燃料が充填しているときも同様です。

- エンジンを再度スタートさせます。

ならし運転

新品の機械は最初の燃料 3 タンク分の間は高速回転 (無負荷でフルスロットル) で運転しないでください。これで、ならし運転中の不要な高負荷を避けます。全ての動く部品は、ならし運転中になじんでくるので、この期間中はエンジンの摩擦抵抗が大きくなります。エンジンの最高出力を発揮できるのは、タンク 5 ～ 15 回使用後となります。

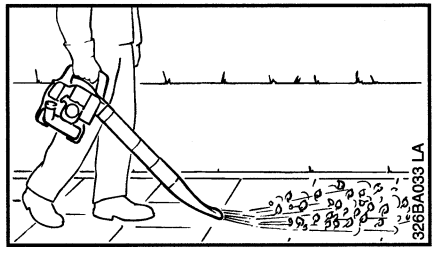
作業中

しばらくの間アイドリングしてエンジンの熱を冷却風で放熱してください。組み込まれている部品（イグニッションやキャブレター）を熱から守るためです。

作業後

短期間使用しない場合：
エンジンを冷却します。燃料を充填した状態で、次の使用まで乾燥した場所で保管します。発火源の近くに置かないでください。長期間保管するときは：「保管」の項を参照してください。

ブロワー マシンの応用例



ブロワー マシンは片手で操作する機械です。右手あるいは左手で操作ハンドルを持って作業します。

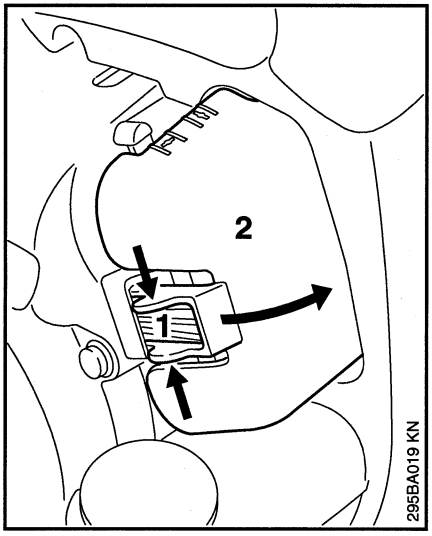
ラウンド ノズル * は特に、凹凸地面に適しています (例 : 草地や芝生)。

フラット ノズル * は地面に近い開口部でエアー フローを平面的に形成するため、確実でコントロールされた作業が可能です。鋸屑や落葉、枝木等が散らばった平坦地面の清掃に特に適しています。

(野原や庭で) ブロワー作業をする時は、小動物に注意してください！

* 「はじめに」の項を参照

エアー フィルターの掃除



エアー フィルターが汚れるとエンジン出力が低下し、燃料効率が低下します。また始動が困難になります。

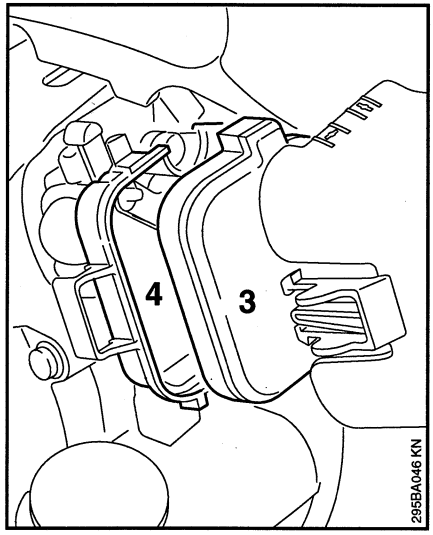
エンジンの出力が著しく低下した場合は：

- (チョーク レバーを ⊥(閉じる) にセットし、

1 = タブを押し、

2 = フィルター カバーを開いて抜き取って外します。

- フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。



3 = フィルターを
4 = フィルター ハウジングから取り外します。

- 新品のフィルターに交換してください！
  補助的な方法として、手の平で叩くか、エアーで汚れを吹き飛ばします。**水洗いしない**でください！

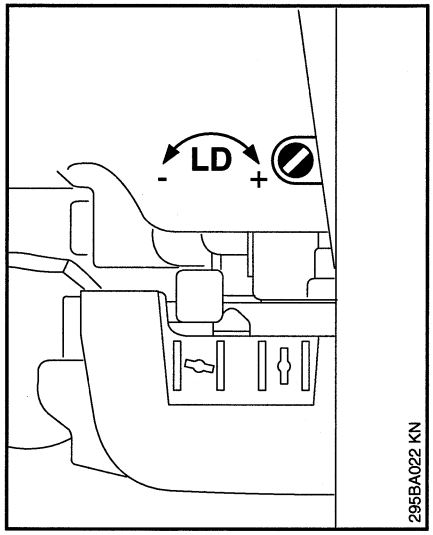
破損したパーツは交換してください！

3 = フィルターを
4 = フィルター ハウジングに装着します。

2 = フィルターカバーを閉じ、カチッと音がするまで押しつけます。

キャブレターの調整

(アイドリング スピード調整
スクリュー LD 装備の場合)



キャブレターは、どのような運転状況でも混合燃料がエンジンに最適に供給されるように工場出荷時に設定されています。

(アイドリング スピード調整
スクリュー LA 装備の場合)

標準設定

- エアー フィルターを点検し、必要な場合は新品と交換してください。
- エンジンをかけて、暖まるまで運転します。

LD=アイドリング スピード調整スクリューが止まるまで反時計方向にゆっくりと回し (逆ネジ)、その後 、2 回転戻します。(標準設定)

アイドリング回転中にエンジンが停止する場合は :

標準設定をを行ってください !
(LD = 2 回転開ける !)

LD=アイドリング スピード調整スクリューを、エンジンが一定に作動するまで時計方向に約 1/2 回転回します。

アイドリングが不安定で、加速が適切でない場合は :

標準設定をを行ってください !
(LD = 2 回転開ける !)

LD=アイドリング スピード調整スクリューを反時計方向に約 1/2 回転回します。

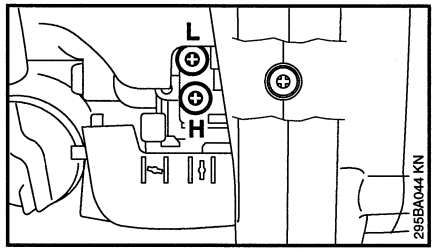
基本的情報

キャブレターは工場出荷時に標準設定されています。

このため、どのような運転状況でも混合燃料がエンジンに最適に供給されるように設定されています。

このタイプのキャブレターでは、わずかな調整に限ってのみ高速調整スクリューで調整可能です !

標準設定



- エンジンを停止する

H = 高速調整スクリューを反時計回りに止まるまで (最高 $^{3}/_{4}$ 回転) 回し込みます。

L = 低速調整スクリュー : 1 回転戻します。

高地或いは低地における調整

高地或いは低地でのエンジン性能が充分でない場合は、わずかな調整が必要になる場合があります :

- エアーフィルターを点検します。必要ならば掃除します。
- エンジンを暖めます。

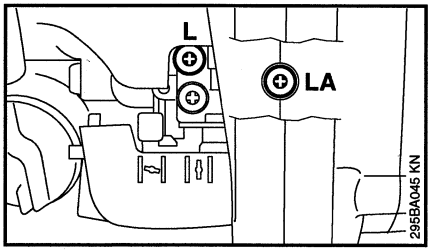
高地では

H = 高速調整スクリューを最高で止まるまで時計回りにして (薄く) します。

低地では

H = 高速調整スクリューを最高で止まるまで反時計回りにして (濃く) します。

アイドリングの調整



アイドリング回転中にエンジンが停止する場合は

L = 低速調整スクリューを 1 回転開けます。

LA=アイドリング スピード調整スクリューを、エンジンが規則的に作動するまで時計方向に回します。その後 $^1/_4$ 回転戻します。

(低速調整スクリュー設定が = 1 にもかかわらず) **アイドリング回転数が不規則で、加速状態が悪い場合は**

アイドリング設定が薄すぎます。

L = 低速調整スクリューを、エンジン回転が安定し加速が良くなるまで反時計方向に回します。

低速調整スクリュー **(L)** を調整する度に、大抵の場合は、アイドリング スピード調整スクリュー **(LA)** を設定変更する必要があります。

排気ガス触媒 *

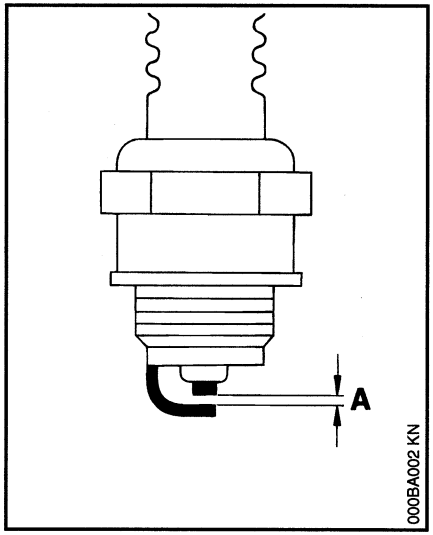
排気ガス触媒 * を装備したブロワー マシンには、**無鉛燃料** および混合比率 1 : 50 の**スチール 2 サイクル エンジン オイル**だけを使用してください (「燃料」の項を参照)。

マフラーに統合されている排気ガス触媒は、有害物質の排出を低減します。

キャブレターを適切に設定 (調整が可能な場合) し、ガソリンと 2 サイクル エンジン オイルの混合比率を遵守することによって、排気ガス中の有害物質が低減し、触媒の寿命も伸びます。

* 「はじめに」の項を参照

スパークプラグの点検



エンジンの出力が低下したり、始動しにくくなったりアイドリングが不安定になったら、先ずスパーク プラグを点検してください。

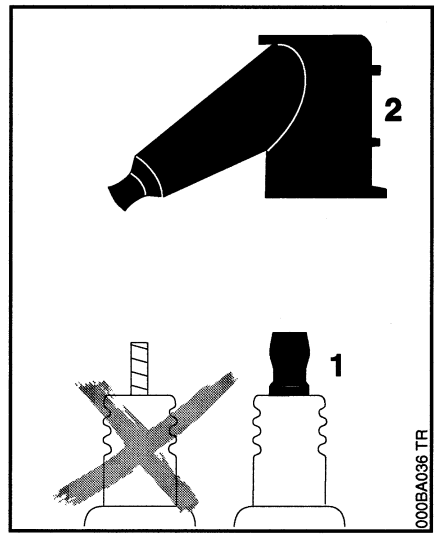
- スパーク プラグを取り外します。「始動 / 停止」の項を参照
- 汚れたスパーク プラグをきれいにします。

A = 電極のギャップを点検します。必要ならば修正します。数値は「技術仕様」の項を参照

- 以下のようなスパーク プラグが汚れる原因を排除してください：

– エンジン オイル混合量の過多
– エアー フィルターの汚れ
– 劣悪な使用環境（中間負荷での使用）

- **約 100 時間運転後はスパーク プラグを交換してください。**電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く換えてください。
スチール社が承認した、雑音防止スパーク プラグを使ってください。（「技術仕様」の項を参照）



アークの発生や火災の危険を避けるために：

アダプター ナットが取り外し可能なスパーク プラグの場合は、必ず
1 = ナットを取り付け、**しっかり**締めます。

2 = スパーク プラグ ターミナルを**しっかりと**スパーク プラグに接続します。

エンジンの運転状態

キャブレターの設定が正しく、またエアー フィルターが正常であるにもかかわらずエンジンの運転状態に不具合がある場合は、マフラーが原因である可能性があります。

スチール サービス センターにマフラー (カーボンの付着) の点検を依頼してください！

リワインド スターター

リワインド スターターの耐用年数を高めるため、以下の点に注意してください：

- ロープは指定された方向にのみ引っ張ってください。
- ロープをロープ ガイドのエッジにたれ下げないでください！
- 規定以上に引っ張りすぎないでください。切れる危険性！
- グリップを急に放さないでください。手を添えてハウジングにゆっくりと巻き込むとスター ター ロープは正しく巻き込まれます。「始動 / 停止」の項を参照！

損傷したスターター ロープの交換は、販売店又はスチール サービス センターに行わせてください！

保管

約 3ヵ月以上使用しない場合：

- 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。
- キャブレターのダイヤフラムの固着を防ぐため、エンジンを運転してキャブレター内の燃料を空にしてください。
- 機械を丁寧に掃除します。特にシリンダー フィンとエアー フィルター。
- 機械を乾いた安全な場所に保管してください。(子供などによる) 許可外の使用を避けてください。

整備表

次の整備間隔は通常の使用条件の場合に限り、当てはまることに注意してください。 毎日の作業時間が通常よりも長い場合、あるいは作業条件が悪い場合 (非常にほこりの多い場所など) は、それに応じて、表に示された間隔よりも短くしてください。		始動前	作業終了後又は毎日点検	燃料給油時	毎週	毎月	毎年	故障の場合	破損の場合	必要な場合
エンジン本体	目視検査（状態と漏れ）	x		x						
	掃除		x							
操作ハンドル	作動検査	x		x						
エアー フィルター	掃除							x		x
	交換								x	
燃料タンクのフィルター	点検							x		
	エアー フィルターの交換						x		x	x
燃料タンク	掃除							x	x	
キャブレター	アイドル調整スクリューの点検	x		x						
	アイドル調整									x
スパーク プラグ	エレクトロード ギャップの調整							x		
冷気吸引開口部	掃除								x	
全てのスクリューとナット (調整スクリューを除く)	増し締め									x

磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の記述を遵守して使用すると、ブロワー マシンの過度の磨耗や損傷が回避されます。

ブロワー マシンの使用、整備並びに保管は本取扱説明書の記述に従って入念に行ってください。

特に以下の場合の様に、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容及び警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷に付いては、ユーザーが責任を負います :

- スチールが許可していない製品の改造
- スチールが許可していないアタッチメントやカッティング ツールの使用
- 指定外の目的に製品を使用
- スポーツ或いは競技等の催し物に製品を使用
- 損傷部品を装備したままで本機を使用したことから生じる派生的損傷

整備作業

“整備表” に列記されている作業は全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、スチール サービス センターに依頼してください。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、ユーザーが責任を負います :

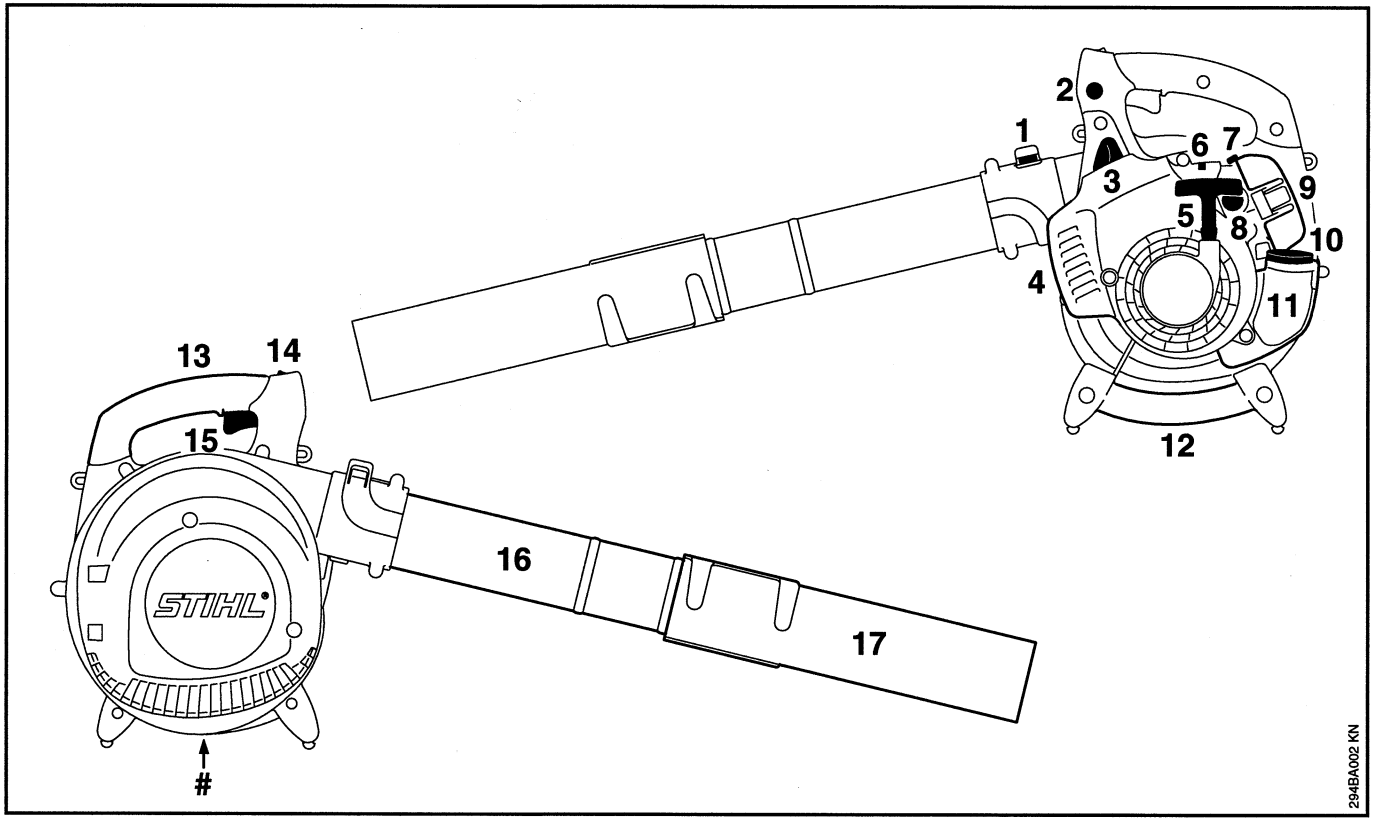
- 指定された整備周期を守らなかった場合、或いは不十分な整備が原因で生じたエンジンの損傷 (例 : エアー フィルター、燃料フィルター)、キャブレターの調整が不適切或いは冷却空気経路の掃除が不十分な場合 (エアー吸入スリット、シリンダー フィン)
- 不適切な保管に起因する腐食並びにその他の派生的損傷
- スチール純正スペアパーツ以外の部品を使用したことに起因する損傷並びに派生的損傷
- スチール サービス店以外で行った整備あるいは修理作業が原因で生じた損傷

磨耗部品

ブロワー マシンの部品によっては、規定通りに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます :

- フィルター (エアーフィルター、燃料フィルター)
- 送風ホイール、チョッパー ホイール
- 集塵バッグ
- リワインド スターター
- スパーク プラグ
- 防振システムのダンパー部品

主要構成部品



1 = タブ
2 = ロック ボタン
3 = スパーク プラグ ターミナル
4 = マフラー
5 = スターター グリップ
6 = キャブレター調整スクリュー
7 = チョーク レバー
8 = 燃料ポンプ
9 = フィルター ハウジング
10 = 燃料タンク キャップ
11 = 燃料タンク
12 = グリップ
13 = 操作ハンドル
14 = スイッチ
15 = スロットル トリガー
16 = 送風管
17 = ラウンド ノズル
 # = 機械番号

技術仕様

エンジン

スチール単気筒 2 サイクル エンジン

排気量 :	27.2 cm^3
シリンダー径 :	34 mm
ピストン ストローク :	30 mm
アイドリング回転数	2800 rpm

イグニッション システム

型式 :	回転数制御式エレクトロニック マグネト イグニッション
スパーク プラグ (雑音防止):	Bosch WSR 6 F 又は NGK BPMR 7 A
エレクトロード ギャップ :	0.5 mm
プラグ スクリュー :	M 14 x 1.25; 長さ 9.5 mm

燃料システム

キャブレター :	燃料ポンプ付き全方向ダイヤフラム式キャブレター
エアー フィルター :	フォーム フィルターおよびフェルト フィルター
燃料タンク容量	0.4 l (400 cm^3)
混合燃料 :	「燃料」の項を参照

機種	ISO 6081 [1)] による音圧レベル L_{peq}	ISO 3744[1] による音響出力レベル L_{weq}	ISO 8662 による振動加速度 アイドリング時		ISO 8662 による振動加速度 最高回転時		空気流量	空気流速	消費電力	質量
	dB(A)	dB(A)	m/s^2		m/s^2		m^3/h	m/s	kW	kg
BG 45	87	98	4.3		6.9		665	56	0.65	4.3

1) 荷重等価レベルには，同じ暴露時間でのアイドリング及び最高回転が含まれます。

特殊アクセサリー

雨どい掃除用 アタッチメント	4229 007 1001
フラット ノズル	4229 708 6301

修理に関する注意事項

本機を使用する方は、本取扱説明書に記述されている整備作業だけを行ってください。それ以外の修理はスチール サービス センターに依頼してください。

修理の後の保証は、スチール公認のサービス ショップでスチール純正部品を使用して修理を行った場合に限ります。

スチール純正部品には、スチール部品番号、ロゴマーク STIHL およびシンボル マーク が刻印されています。小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。

CE 適合証明書

当社、

Andreas Stihl AG & Co.
Badstr. 115
D-71336 Waiblingen

は、下記の新型マシンが

製品名：	ブロワー マシン
メーカー名：	STIHL
型式：	BG 45
シリーズ番号：	4229

指示書 98/37/EC、89/336/EEC および 2000/14/EC 仕様に適合していることを証明します。

この製品は次の規格に準拠して開発、製造されました：
EN 292, EN 50082, CISPR 12

音響出力レベルは、測定値並びに確保数値共に、2000/14/EC の補遺条項 V 規定に準拠した ISO 11094 に基づいています。

音響出力レベル測定値：
98 dB(A)
確保される音響出力レベル数値：
99 dB(A)

技術資料の保管場所：
Andreas Stihl 製品認可部

2001 年 7 月 1 日 Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL
代理人

Steinhauser
製品管理グループ / 技術サービス部長

品質証明書

スチールの全製品は、最高の品質要求規準に適合しています。

スチール製品の全製品は、製品の開発、素材の購入、製造、組立て、マニュアル作成、顧客サービスにおいて、品質管理システム ISO 9001 の厳しい要求に適合していることを独立した機関が証明しました。